

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2013年2月28日(木) 8:45~12:15
実施場所	久末小学校 ビオトープならびに理科室
実施対象	3年生 4クラス(約160名)
実施内容	ビオトープの生きもの採取と観察

1 事前準備

スタッフが事前に生きものを採取した。

【ビオトープ】

2 実施内容

(1)各児童、手網を用いて生きもの採取を行った。

【ビオトープ】

(2)とれた生きものを肉眼、あるいは虫メガネで観察。

【理科室】

(3)観察した生きものをモニターや写真を使って解説した。

【理科室】

3 スケジュール

	生きもの採取	生きもの観察
1組	8:45~8:55	9:00~9:30
2組	9:30~9:40	9:45~10:15
3組	10:45~10:55	11:00~11:30
4組	11:30~11:40	11:45~12:15

4 事後処理

・ビオトープの水草(ホテイアオイ、オオカナダモ)が繁茂した後に枯れてきていたので、今後の水質管理上、富栄養になるのを予防するために間引きを行った。

・ビオトープの周囲を巡る進入防止ロープを固定する杭が曲がっていたので、補修した。

・採取した生きものについては、スタッフが授業終了後ビオトープに戻した。

生物・植物

池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

メダカ、モツゴ、ドジョウ、ヤゴ(アジアイトトンボ、シオカラトンボ)、アカムシ、ミズムシ

モノアラガイ、サカマキガイ、タニシ

問題点・気付いた事・その他

・事前調査ではギンヤンマのヤゴが確認できたが、今回は発見されなかった。大きなヤゴを発見した時の感動を体験させたかった。また、他の学校ではよく確認されるシオカラトンボのヤゴも1匹しか確認できなかったが、他校では、あまり発見されないアジアイトトンボが多く発見された。

・貝は、外来種のサカマキガイよりもモノアラガイのほうが多く確認された。



ビオトープ



活動の説明



生きもの採取①



生きもの採取②



生きもの観察①



生きもの観察②



生きもの解説



3種類の貝(左からタニシ、モノアラガイ、サカマキガイ)